

令和4年度第2回福生市廃棄物減量等推進審議会記録（概要）

- 日 時 令和4年12月12日（月）午後2時00分から午後3時30分まで
- 場 所 福生市役所第一棟4階 庁議室
- 出席者 清水会長、千葉副会長、澤井委員、志茂委員、高木委員、平瀬委員、鶴岡委員、奥富ごみ減量対策課長、山岡ごみ減量対策係長、和地リサイクルセンター係長、西村主事

- 1 開 会 奥富ごみ減量対策課長
- 2 会 長 挨拶 清水会長
- 3 議 題 清水会長により議事進行

（1）廃棄物処理手数料減免の適正化について （事務局）

令和4年3月に福生市一般廃棄物処理基本計画を改定し、今後はこれに基づきごみ減量等の取組を進めていくこととなる。

廃棄物処理手数料の減免基準は、平成17年度に定めたもので、当時とはごみの分別方法やごみ減量の状況に変化がある。また、減免対象者一人当たりのごみ排出量が市民全体の一人当たりごみ排出量を上回っている。

そこで、市民一人当たりのごみ排出量等をベースに減免基準の適正化を図るため、次の内容を提案。いずれも年度当たり。

粗大ごみ・・・無制限→1品目

持込ごみ・・・全ての減免対象者が無制限

→天災、火災等の災害を受けた者のみ無制限

指定収集袋・・・1人世帯

可燃 小袋100枚→小袋80枚

不燃 小袋20枚→小袋4枚

2人世帯

可燃 中袋100枚→中袋80枚

不燃 中袋20枚→中袋4枚

以降1人増えるごと

可燃 中袋50枚→中袋40枚

不燃 中袋10枚→中袋2枚

(委員)

減免対象者が他の人の粗大ごみ等を出してあげるような状況があるのか。

(事務局)

実際にそれが疑われるような事例はある。1人で年間1.5t持ち込む事例もあった。

(事務局)

減免の適正化について、この内容で進めてよいか。

(委員)

進めてよい。

(2) ごみ総合受付センター設置の検討について

現在、市民からの問合せ等は、ごみの分別方法や取り残し等はごみ減量対策係、粗大ごみや持込ごみの申込み等はリサイクルセンターとなっており、電話番号も3つある状況。これを委託によりすべての問合せを一つの電話番号に一本化して市民の利便性を高めたいと提案し意見を求めた。

→委員から特に異論はなかった。

(3) 資源回収実施団体報償金交付事業の見直しの検討について

ビン・缶・ダンボールなどの資源物を各団体が地域の家庭から集めた量に応じて市から報償金を出している制度について、市民の分別意識の向上等が図られてきたが、一方ですでに市民の分別意識の定着が図られている状況もあり、今後この事業はどのような形が望ましいのか意見を求めた。

(委員)

資源回収においてペットボトルのキャップやラベルを取って出すということが地域で定着してきている点は良いところだと思う。

(委員)

報償金の単価など下げる予定があるということか？

(事務局)

単価は現状を伝えただけであり、下げる予定があるということではない。

(委員)

資源回収を実施している団体数は何団体あるか？

(事務局)

令和3年度は56団体

(委員)

メリット、デメリットを整理する。その上で良いアイデアを出すと良い。

(事務局)

この事業をすぐに見直しするという考えではないが、様々な意見を聞きながら

より良い方法を考えていければと思う。

(4) その他

ア 市で収集できない廃棄物について

土、廃油、消火器、塗料など市で収集できない廃棄物の処理の協力事業者を公募したので、今後市民に周知していく。

イ 電子タバコの収集について（小型家電での個別収集）

電子タバコはメーカーの回収協力店で回収となっているが、今後は小型家電で戸別収集したいと考えている。

→令和5年2月21日付けで、電子タバコ等に含まれる小型充電式電池について、現状の小型家電の収集運搬方法では収集運搬時に発火の恐れが増すとの指摘があったため、小型家電ではなく、有害ごみで収集することに変更したい旨、各委員に通知し了承を得た。

ウ 家庭用生ごみ減量化処理機器購入費補助金について

ごみ減量を目的に補助事業を実施してきたが、電気を使用するため環境という観点から見直しを検討したい。

エ 廃棄物減量等推進員について

近年はポスター・標語コンテストの審査のみの活動となっているので、今後の活動内容やあり方について意見をいただきたい。

オ 家庭ごみ収集運搬委託事業者によるポイ捨てごみの収集について

委託業者が1月から地域貢献の一環として、ポイ捨てごみ収集の取組を始めることを報告。

カ 小型家電回収ボックスについて

戸別収集が定着したため、今年度末で撤去したいと考えている。

キ ごみ・リサイクルカレンダーについて（2年分、広告掲載）

毎年発行しているが、令和6・7年度分から2年に一回の発行とし、合わせて広告を掲載して収入を確保する。

ク 指定収集袋について（バイオマスプラスチック 25%含有）

令和6年度から環境に配慮してバイオマスプラスチック 25%含有した指定収集袋とする。

ケ ボランティア袋について

落ち葉の収集に使用されることが多いが、落ち葉をごみとして集めるとプラスチックでできたボランティア袋もごみとなる。良い方法がないか。また、袋のサイズも一種類に統一してはどうかとの意見もあるがいかがか。

コ 古布の回収方法について

雨の日に古布が濡れないように袋に入れて回収することを認めることとしたが、今後晴れの日も含めて袋に入れての回収を基本とすることが適切かどうか。

委員からの御意見、御質問など

(委員)

生ごみ減量化の補助金は直近で使われている方はいるか。

(事務局)

予算規模で8人程度であるが補助金を活用している方はいる。

他に、電気を使わない生ごみ堆肥化容器の貸与も行っている。ベランダで使用できるようなコンパクトな容器もある。

閉 会